

1月臨時会・2月定例会の審議結果

1月臨時会で審議された市長提出議案1件と2月定例会で審議された市長提出議案136件、議員提出議案7件の審議結果は、次のとおりです。
(= 賛成、× = 反対)
自 民 党 = 自由民主党京都市議員団 (24人) 共 産 党 = 日本共産党京都市議員団 (20人)
公 明 党 = 公明党京都市議員団 (11人) 民 主 ・ 都 = 民主・都みらい京都市議員団 (10人) 無 所 属 (1人)

Table with columns: 件名, 審議結果, 会派名 (自民党, 共産党, 公明党, 民主・都, 無所属). Rows include: 直接請求議案 (1月臨時会), 18年度予算案, 17年度補正予算案, 条例制定案, 条例改正案, 条例廃止案, その他議案, 議員提案.

予算特別委員会の審査

2月定例会では、18年度予算などを審査するため、2月24日に二つの予算特別委員会に議案を付託しました。

普通予算特別委員会には、18年度一般会計予算など予算案14件とその関連議案20件を、また公営企業等予算特別委員会には、病院、水道、公共下水道、自動車運送(バス)、高速鉄道(地下鉄)などの18年度予算案8件をそれぞれ付託し、各委員会において、局長等に対する質疑を終えた後、市長・副市長に対する総括質疑を行い、3月17日の本会議で各委員長から審査の経過と結果を報告しました。

報告の後、付託議案の議決が行われ、すべて委員長報告どおり、原案のとおり可決しました。

なお、18年度一般会計予算などに付けた付帯決議は右欄と2・3面に掲載しています。

= 付帯決議に対して賛成
× = 付帯決議に対して反対

5月定例会の会議日程(予定)

5月定例会は5月16日(火)から5月30日(火)までの予定です。

また、各会派の代表質問は5月19日(金)に本会議場で行われる予定です。

ご連絡・お問い合わせは
市会事務局政務調査課
☎222 3697

市会が18年度予算などに付けた付帯決議(要旨)

[18年度一般会計]

- 1 「京(みやこ)・食の安全衛生管理認証制度(仮称)」創設に当たっては、中小事業所等多くの施設が取得可能な制度となる認証基準など、今後の制度整備において関係業界の理解と協力が得られるまで、慎重かつ十分に協議すること。(全会一致)
2 今後とも、財政健全化プランを軸に不断の努力を行い実効性ある市政運営に努め、予算や財政状況等を分かりやすく市民に伝えるための更なる工夫と取組をすること。
3 京都御池地下街株式会社の借入れに対し総額99億円の債務負担行為の設定が行われたが、健全な財政運営の監視の下で、優秀な実績を持つ経営者を起用し、徹底した業務改善と経営活性化策を不転載の決意で着実に遂行するとともに、市民の理解を得るべく十分な説明を行うこと。
4 PFI手法の導入等により本市の債務負担行為は増額傾向にあり、その総額管理に努められたい。
2~4(自、共×、公、民、無)

そこで、次の点についての取組を求める。

- 1 実施に向けては、市民の理解と支援を得るための説明責任を果たすこと。
2 有料化による収入の用途を透明化し、環境行政の確実な向上に役立てること。
3 10月の円滑実施に向けて、市民へのおし袋を効果的に配布すること。
4 指定袋以外での不適正な排出や不法投棄には、全庁体制で未然に防止する取組を行うこと。
5 まち美化事務所職員の服務規律の徹底と、職員の市民サービスの向上に努めること。
6 紙おむつを使用する高齢者等に対する家庭ごみ有料化に伴う福祉対策を検討、確立すること。
7 事業系ごみ等の分別収集を徹底すること。
8 プラスチック分別収集は、19年10月の完全実施に向けて万全の準備で取り組むこと。
9 過剰包装等、事業者に対して、強力に指導を行うこと。
10 リターナブル瓶の再利用の取組を強力に進めること。
11 清掃活動等のボランティア活動への支援を一層強化すること。
12 ごみにかかわる市民からの相談や苦情処理も含めた体制を確立し、万全を期すこと。
13 今後とも市民との対話を行う体制を確立すること。
(自、共×、公、民、無)

(2・3面に続く)

[廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正]

有料指定袋の導入に当たって、これまで意見交換会で寄せられた市民の懸念を確実に払しょくするとともに、環境行政が向上したと市民が実感できる取組を並行して実施することが強く求められる。